



# 1月のえんだより

2025.1.8 No. 9 鴻巣英和こども園

新年、あけましておめでとうございます。

新年を祝わない国があるのでしょうか。欧米ではウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のニューイヤーコンサートなどがよく知られ、日本でも毎年放映されています。新しい年を迎えることは、喜ばしいことに違いありません。もっとも一休禅師の句に「門松や冥土の旅の一里塚、目出度くもあり目出度くもなし」というのも、一方の真理かも知れません。それでも「おめでとう」と挨拶をするのは、面白いと思います、いかがでしょう。

こどもたちはお正月を楽しく過ごされたのでしょうか。わたしのこどもの頃は、「もういくつ寝るとお正月」などと歌って、わけもなく楽しかったものです。だんだん風揚げをする場所がなくなって、よく独楽で遊んでいた記憶があります。

聖書には「新しさ」を意味する言葉が二つあります。一つは「ネオス」で、もう一つは「カイロス」です。「ネオス」というのは「NEWS」の語源です。ときどき「NEWS」は「北東西南」の頭文字から出来たということを知りますが、それは誤りです。ニュースというのは日々一刻変わる新しさですが、「カイロス」というのは、「キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。(Ⅱコリント5：17)」にあるような「新しさ」で、新しく生まれ変わるような特別な新しさです。

「新年」はともすれば一休禅師が言うようなものかも知れません。しかし、本当の新しさは、毎年繰り返されるものではなくて、新しい歩みへと一歩を踏み出すことではないでしょうか。

園長 長村亮介

| 2024 年度主題 | さあ、漕ぎだそう 奏でよう                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 1月主題 | かさねる |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|
| 今月の聖句     | 「キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。」<br>コリントの信徒への手紙二 5章17節                                                                                                                                                                                                                                              |      |      |
| 目 標       | <p>☆つくし組(1歳)・・・お友だちと関わる中で、お友だちの色々な思いに触れ考える。</p> <p>☆すみれ組(2歳)・・・自分でできることは挑戦していき、成功した喜びを味わう。</p> <p>☆むぎ組 …………… 自分の気持ちを言葉で表現し、お友だちと気持ちを受け止め合いながら過ごす。</p> <p>☆りすグループ・・・体調管理に気をつけながら、園での生活を楽しむ。自分の思いや友だちの意見を大切に話し合いをし、みんなで力を合わせて取り組むことを楽しむ。</p> <p>☆きりんグループ・・・新しいことにも進んで挑戦し、目標に向かって友だちと力を合わせ、楽しんで行く。</p> |      |      |

